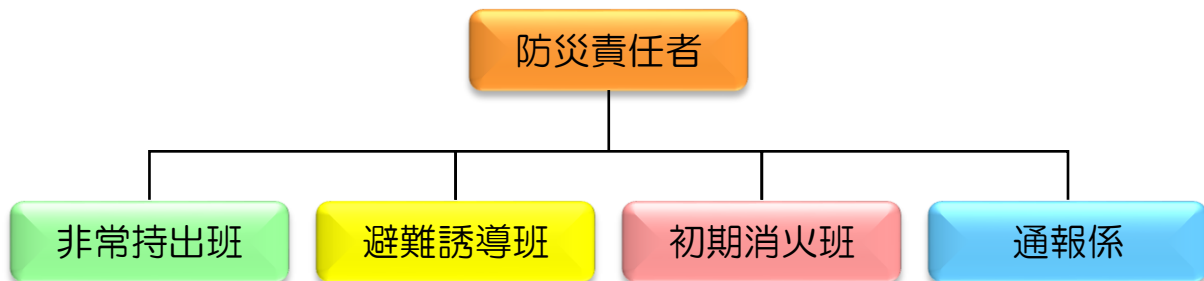


もし火災が起こったら

火災では、初期消火が非常に重要になります。
事前に役割を決めて、組織として対応しましょう。



火災を発見したら、

大声で周りに知らせましょう。

通報係は、「119番」通報をします。

初期消火班は、初期消火を行います。

- 周囲の消火器を集めて消火します。
- 炎が大きければ、2本、3本と同時に使えば効果があります。
- 屋内（外）消火栓があれば、消火器がダメなときに使いましょう。

貴重品等は、非常持出班が安全な場所に持ち出します。

初期消火に失敗したら、時機を逸さないように避難しましょう。

爆発火災以外は、最初は小さな火です。

発見が早ければ、ためらわずに初期消火を行いましょう。

消火器がなくても、一般火災（油火災や電気火災以外）であれば、水をかければ消せます。

水バケツなどで効率よく消火しましょう。（バケツリレー）

屋内消火栓であれば、中期の火災（1室が燃え上がっている程度）でも十分効力があります。

普段から放水訓練などを行い、誰もが使えるようにしておきましょう。